

「トーン防止の日」

10月7日、損保協会



横浜・関内駅前街頭活動
ピーガルクン(左)とトラセンジャー

損保協会が全国各地の街頭で自動車盗難や車上ねらいなどに対する防犯意識の啓発を呼びかける「トーン(盗難)防止の日」。今年も10月7日に損保会社社員

や代理店、警察署員などが全国で約1000名参加し、啓発チラシとオリジナルウェットティッシュを約4万セット配付した。神奈川県では横浜市のJR関内駅前で、損保協会職員や保険会社社員、

神奈川県警、神奈川県協会の会員代理店などが街頭活動に参加。県警のシンボル「ピーガルクン」や

キャラクター「トラセンジャー」とともに、「トーン防止キャンペーン」を実施しています。「車からおりるときはドアをロックしましょう」「盗難に気を付けてください」などと声をかけながら、通行人に自動車盗難対策の徹底を呼びかけた。

神奈川県警では、近年の神奈川県内自動車盗難の状況について「車上荒らしの件数は減少傾向にある一方で、無施錠車の盗難が増えている」と述べ、車をわずかに離れるときにも施錠を促してもらいたいと呼びかけた。